

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かじや製油株式会社

2008年3月期中間決算説明会

決算概要について

2007年11月9日(金)

取締役専務執行役員 水戸 優



- 1. 会社概要**
- 2. 2008年3月期中間決算概要**
- 3. 2008年3月期事業計画**



1. 会社概要



会社プロフィール(2007年9月30日現在)

- 所在地 本社:東京都品川区
- 創業 1858年(安政5年)
- 設立 1957年(昭和32年)5月2日
- 代表者 取締役社長 小澤 二郎
- 資本金 21億60百万円
- 株主数 3,512名
- 従業員数 273名
- 事業所 本社、工場、
4支店、5営業所、1事業所

- 事業内容 ごま業界のトップメーカー
『ごま油、食品ごま、商品、脱脂ごま』



主な取扱商品

ごま油

家庭用



業務用



食品ごま

家庭用



業務用

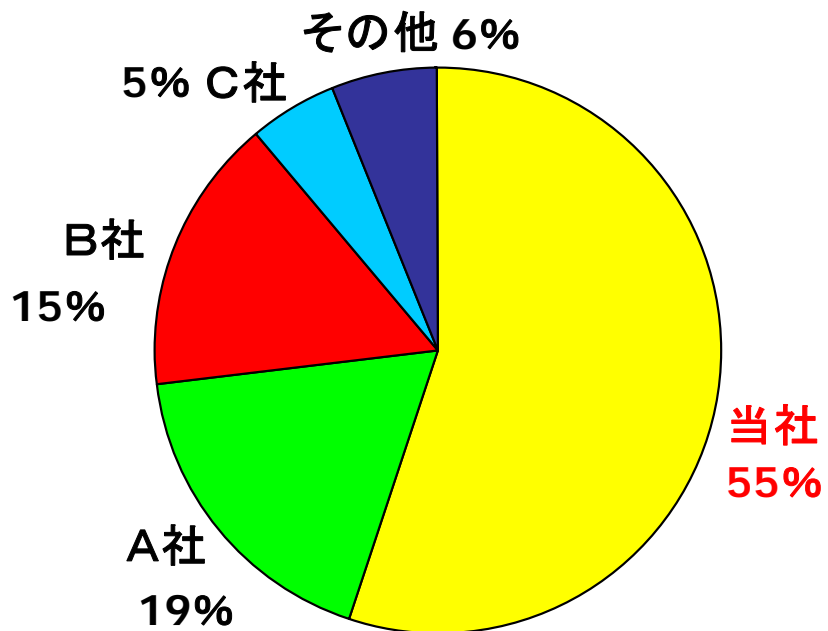




シェア状況

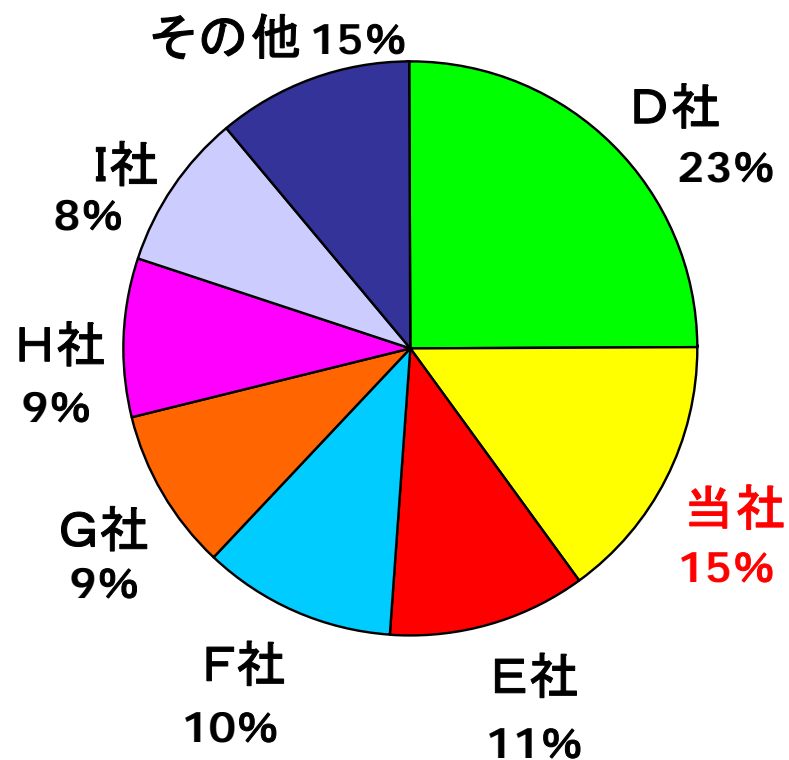
ごま油(2006年売上高)

市場規模: 約300億円



食品ごま(2006年売上高)

市場規模: 約240億円



上記数値は【株富士経済】調査による



2. 2008年3月期中間決算概要



08/3月期 中間決算の概要

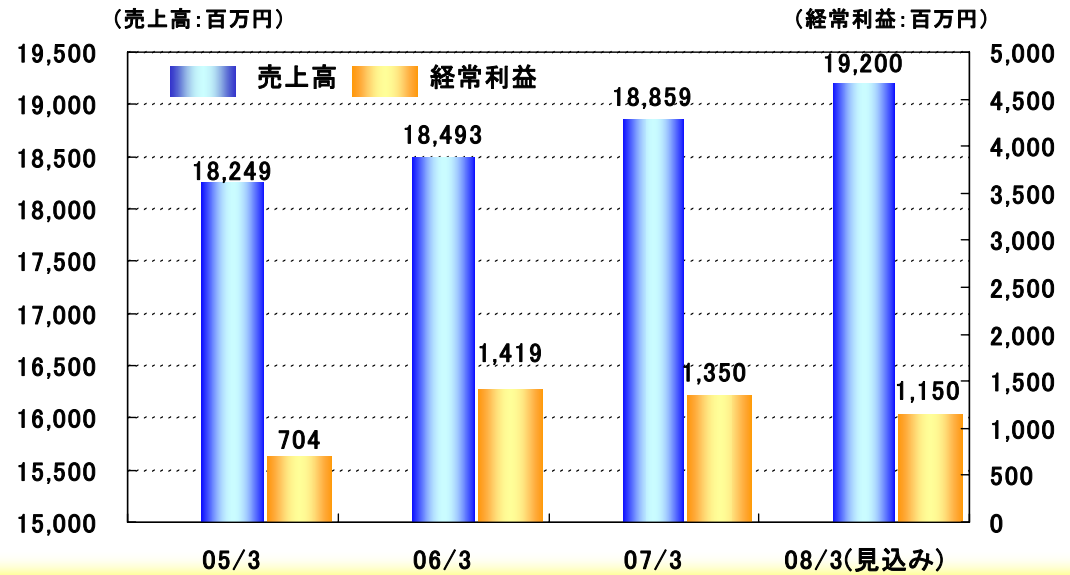
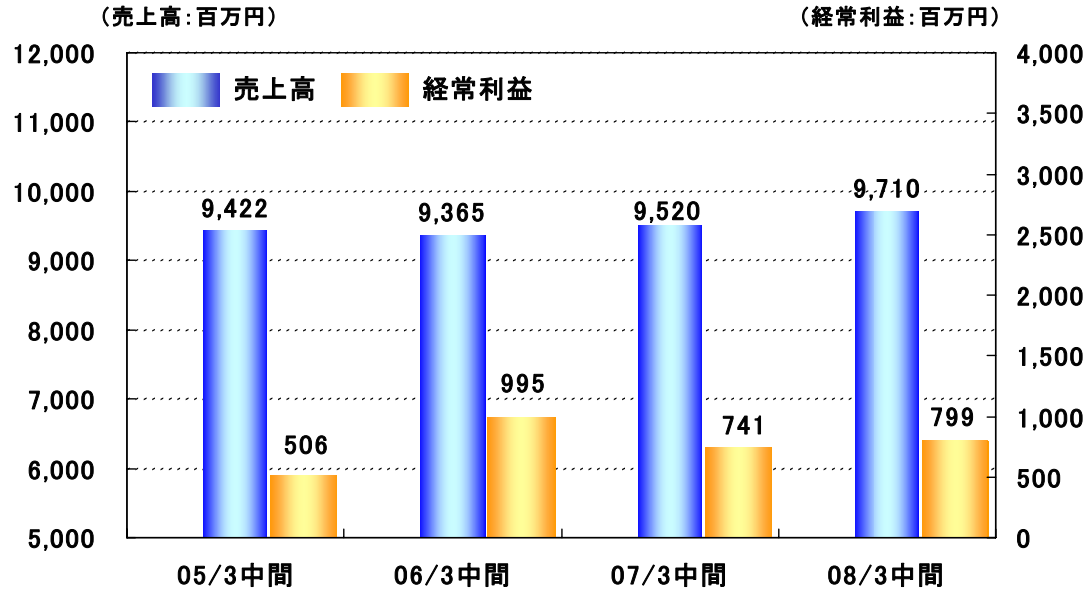
(単位: 百万円)	07/3月期 中間	08/3月期 中間	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	9,520	9,710	190	2.0%	ごま油: 家庭用好調、業務用・輸出用 値上げにより苦戦 →販売数量1.7%減 食品ごま: 販売数量1.7%増
売上原価	6,149	6,236	87	1.4%	ドルベース仕入価格7.8%増 為替レート3.5%円安 製造経費2.9%減
販管費	2,651	2,699	48	1.8%	家庭用ごま油販売数量増による 経費増
営業利益 〈利益率〉	720 〈7.6%〉	775 〈8.0%〉	55	7.6%	
経常利益 〈利益率〉	741 〈7.8%〉	799 〈8.2%〉	58	7.8%	
純利益 〈利益率〉	411 〈4.3%〉	459 〈4.7%〉	48	11.7%	

【為替】

原価計上レート¥/\$	116円	120円
決済レート¥/\$	115円	120円

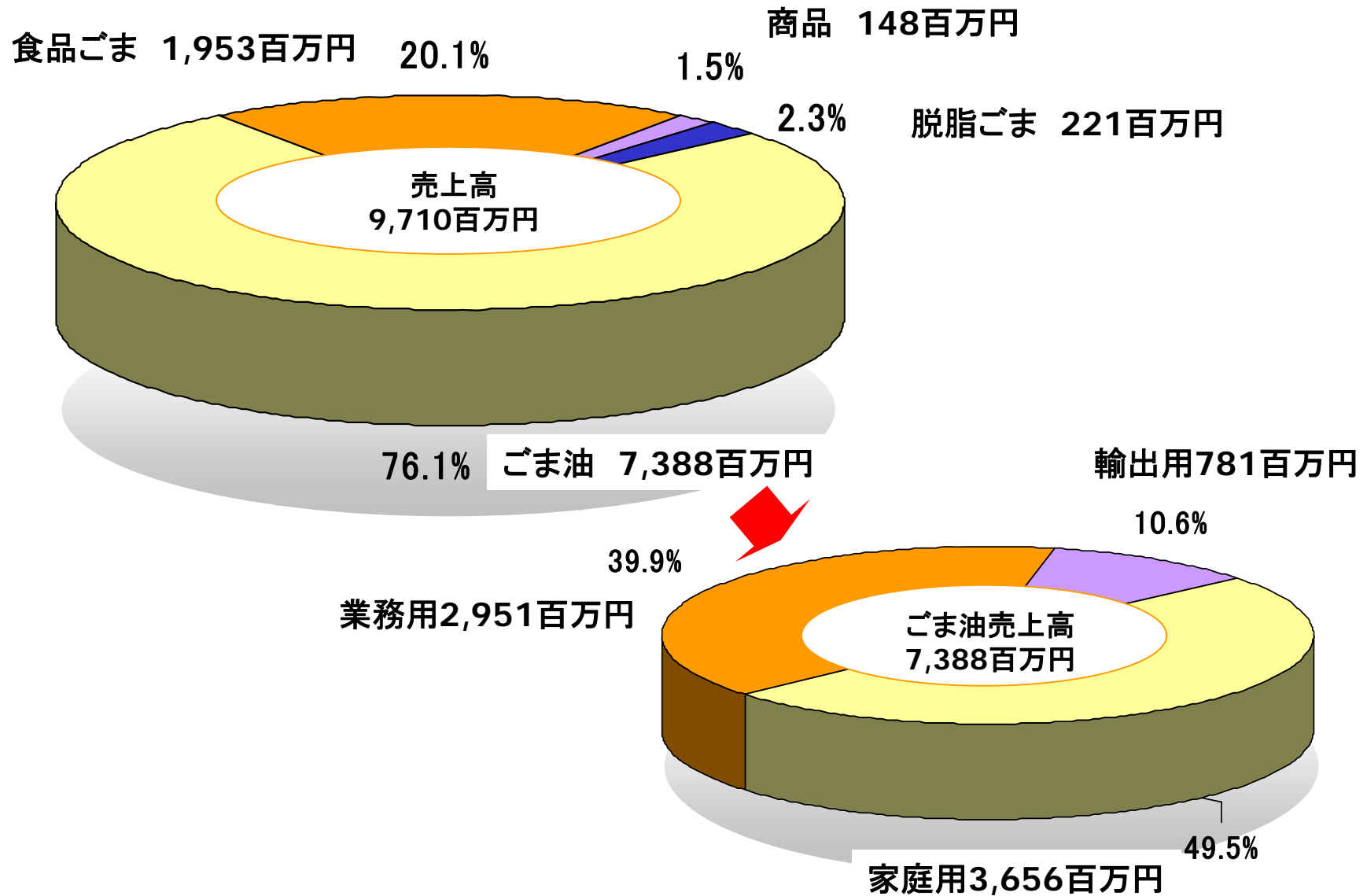


業績の推移





商品別、用途別売上高 (2008年3月期中間)





貸借対照表の主な増減項目

(単位:百万円)	07/3月期 期 末	構成比 (%)	08/3月期 中 間	構成比 (%)	前期比		増減要因
					増減金額	増減率	
資 産							
■流動資産	11,718	60.5	11,548	60.0	△170	△1.5%	
■固定資産	7,646	39.5	7,713	40.0	67	0.9%	
資 産 合 計	19,364	100.0	19,261	100.0	△103	△0.5%	
負 債							
■流動負債	4,139	21.4	3,923	20.4	△216	△5.2%	工事関係等の 未払金減
■固定負債	589	3.0	627	3.2	38	6.3%	
負 債 合 計	4,728	24.4	4,550	23.6	△178	△3.8%	
純 資 産 合 計	14,636	75.6	14,711	76.4	75	0.5%	
負債・純資産合計	19,364	100.0	19,261	100.0	△103	△0.5%	



3. 2008年3月期事業計画



2008年3月期事業計画

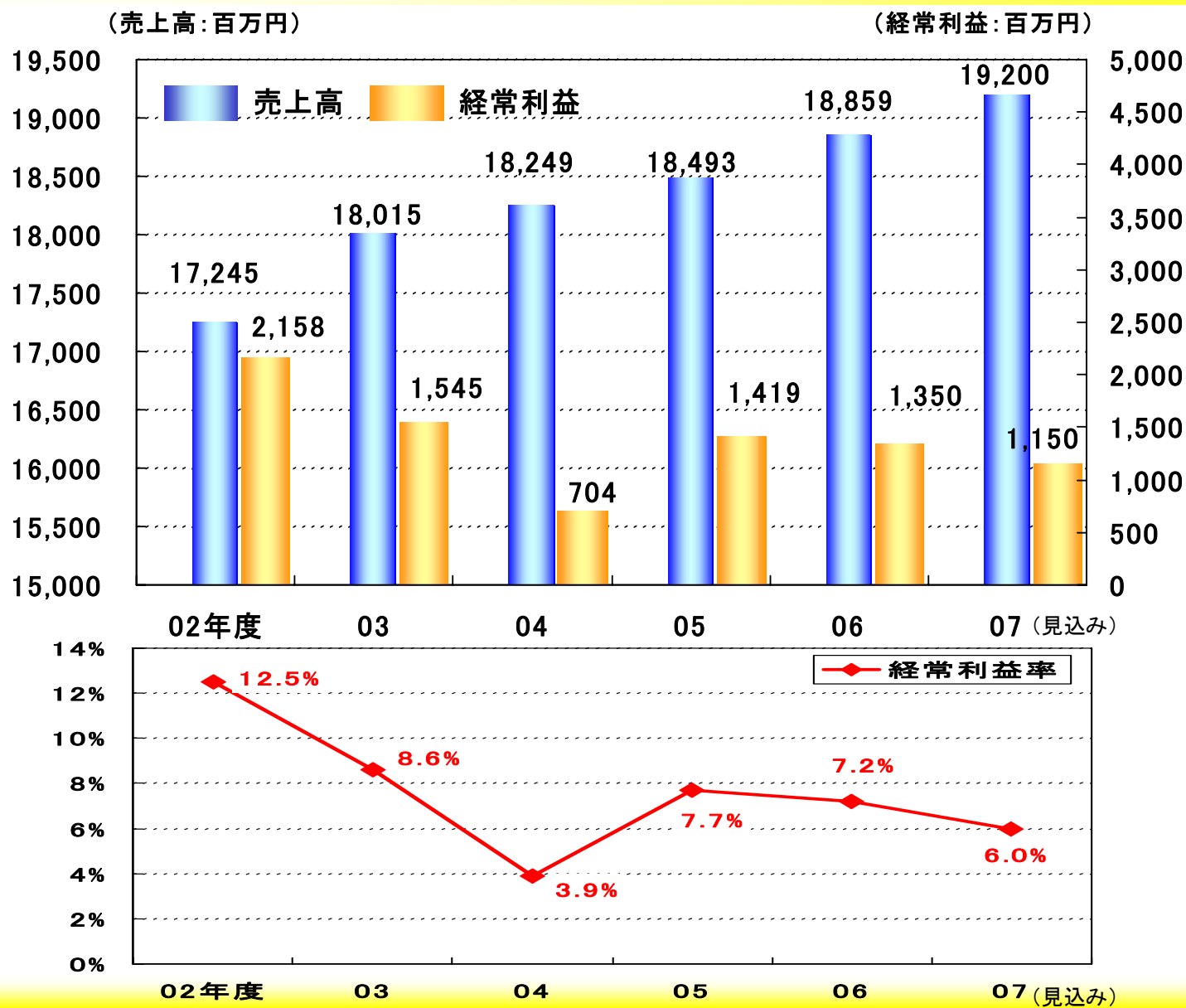
(単位：百万円)	07/3月期 実績	08/3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	18,859	19,200	341	1.8%	ごま油販売数量は 値上げの影響で約4%減 食品ごま販売数量は 前期並
営業利益 〈利益率〉	1,250 〈6.6%〉	1,150 〈6.0%〉	△100	△8.0%	原料価格の高騰 為替円安 設備修理費・減価償却費増 販促費増(市況対策)
経常利益 〈利益率〉	1,350 〈7.2%〉	1,150 〈6.0%〉	△200	△14.8%	
当期純利益 〈利益率〉	774 〈4.1%〉	650 〈3.4%〉	△124	△16.1%	

通期為替レート¥/\$ 116円(実績) 117円(想定)

為替レート1円変動による損益への影響額 約40百万円/年



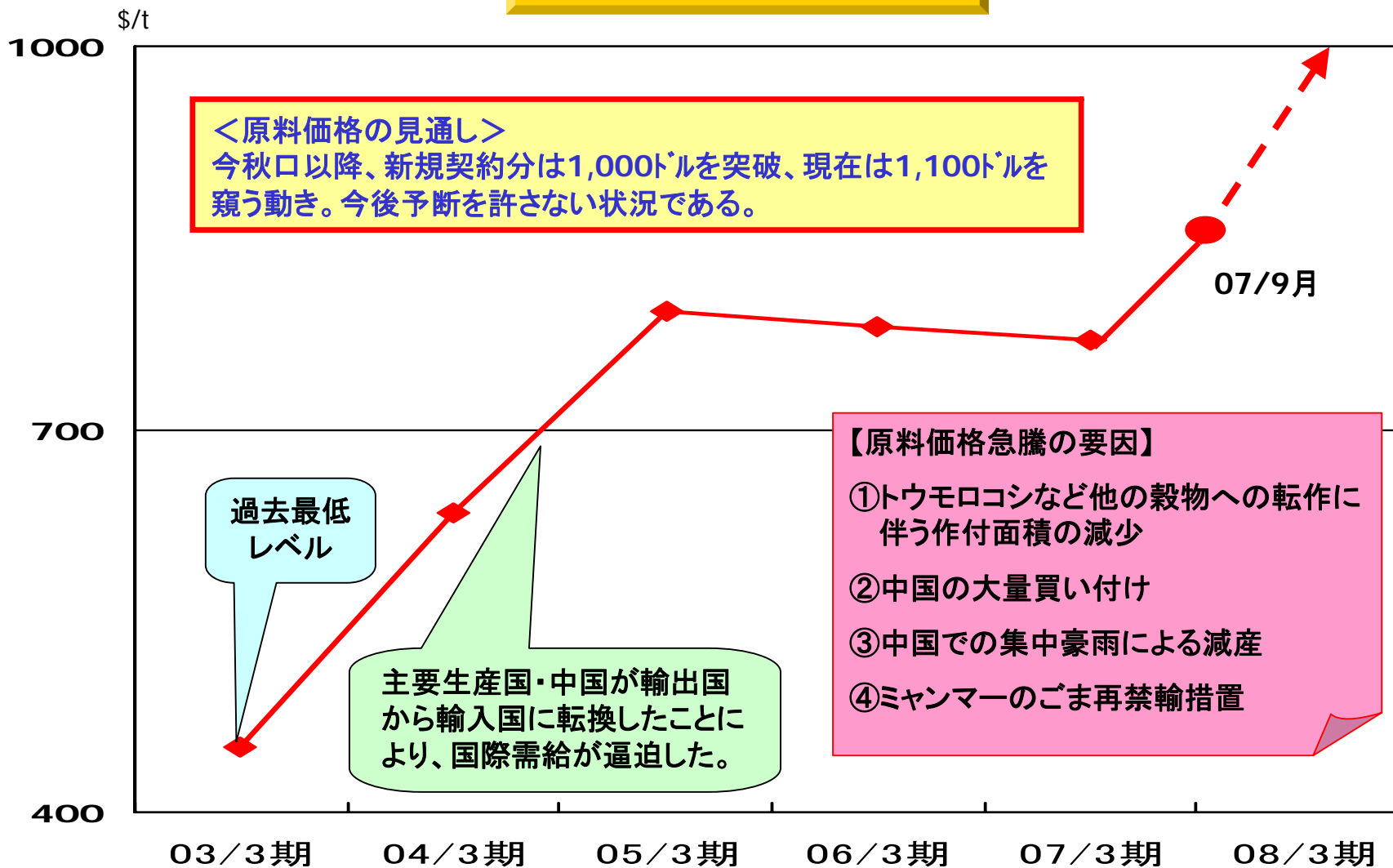
08年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移





原料価格の動向

原料仕入価格推移(搾油用)



健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かどや製油株式会社
2008年3月期中間決算説明会

経営展望について

2007年11月9日(金)

代表取締役社長 小澤二郎



2008年3月期通期及び今後の展望

- ▶ 製品値上げ
- ▶ 売上拡大策
- ▶ 品質管理体制
- ▶ 中期展望
- ▶ 神戸新工場
- ▶ 目標とする指標(配当性向)



製品値上げ

2007年4月(1次値上げ)

- ◆ 業務用ごま油 斗缶当たり500円値上げ
- 需要家の理解を得て、ほぼ浸透した。



更に原料価格が高騰し、合理化での吸収余地が少なく、収益に悪影響



2007年下期(2次値上げ)

- ◆ 業務用ごま油 斗缶当たり500円値上げ
- ◆ 家庭用ごま油 約12%値上げ
- 業務用・家庭用共に鋭意取り組んでいる。



売上拡大策(ごま油)

ごま油

▶新製品の動向

純正黒ごま油150g



黒ごま辣油45g



両商品共に市場の評判は良く、順調に伸びている。
※黒ごま油販売数量 対前年上期比 約150%強



売上拡大策(食品ごま)

食品ごま

【家庭用】

- ◆しっとり感のあるすりごまを、平成20年2月頃販売予定。
 - ◇すり鉢ですったようなしっとり感。
 - ◇「すりごま」と「いりごま」のブレンドにより、ほどよい粒感。

【業務用】

- ◆利益率が高い「ねりごま」の拡販を継続。
今上期は、坦々麺の需要減からやや苦戦。



品質管理体制

原材料・製品に対する管理体制

- 国際的な品質保証規格「ISO9001」を認証取得済である。
- 国内外から仕入れる原材料や補助材料から最終製品に至るまで、品質マニュアル、諸規程・要領に則り、管理業務を遂行している。

ポジティブリスト制度への対応

- 規制の対象となる農薬等は約800品目強。
- 当社は、原料の残留農薬の安全性に対し、逸早く取り組んできた。
- ポジティブリスト制度導入後も分析・検査体制および設備の増強に取り組んでおり、公的機関にも可能な限り詳細な検査を依頼している。



消費者の皆様の信頼に応えると共に、他社との差別化を図っている

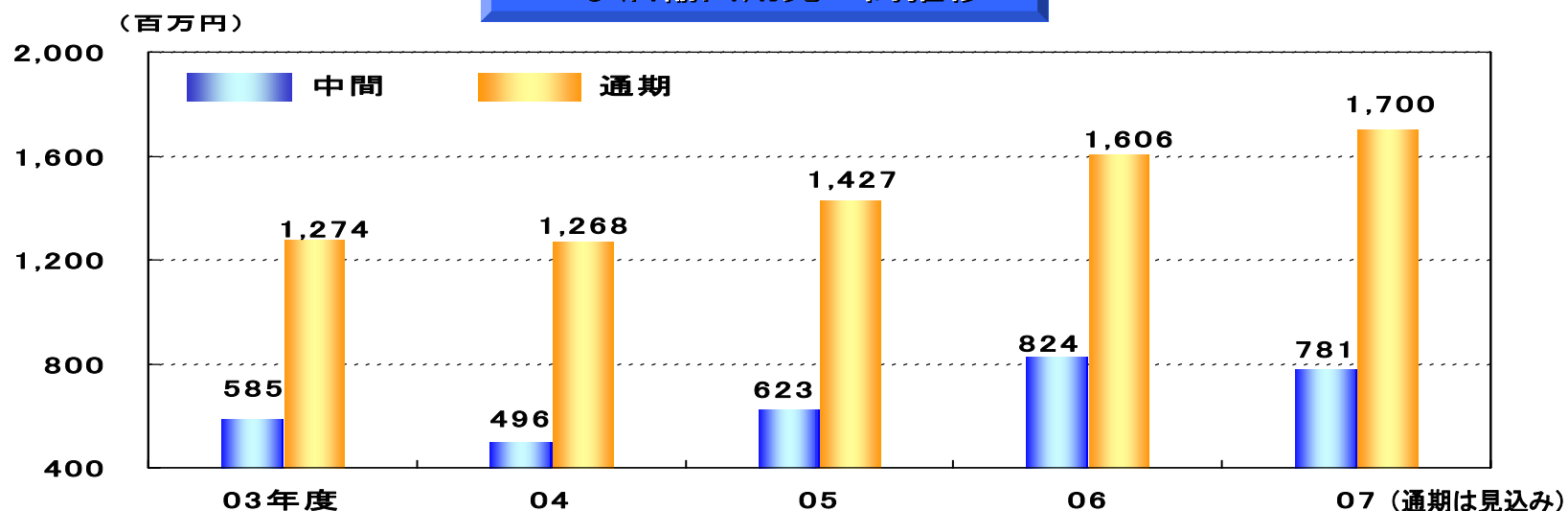


中期展望(ごま油)

ごま油

- ◆ 在外日・中・韓国人系の方々による需要増が見込まれる輸出にも注力する。
※重点地域の1つであるカナダの中・韓国人の方々的人口が増加している。
- ◆ 今上期の輸出用売上金額は、製品値上げによると見られる販売数量減もあり、前年同期比約5%ダウン。ただ、瞬間的なものと思われ、下期は伸びている。
- ◆ 今上期のダウンの要因を確認すべく、販売責任者が現在北米にて調査中。

ごま油輸出用売上高推移





中期展望(食品ごま)

食品ごま、ねりごま

- ◆ごま油に比べて、当社シェアは高くないため、伸びる余地は十分にある。
また、業務用に比べて家庭用のシェアが高くない。
業務用の拡販を継続し、かつ、家庭用にも積極的に取り組む。



神戸新工場

検討委員会において、用途・投資効率等、新工場建設について精査した。



一工場リスクの回避、小豆島工場の生産能力の余力が乏しいことから、新工場の必要性は認識している。



しかし、原材料の高騰による製品値上げ等により、販売数量が着実に増加するか不透明感が出てきた。



当面は、大阪・名古屋・広島地区の物流センターとして活用しつつ、販売数量の推移、投資効率等を踏まえ、中期的視野で、建設着手を検討する。



目標とする指標(配当性向)

- ◆ 2007年3月期より、
業績に連動させた配当に変更。
- ◆ 配当性向の目標は、
当期純利益の40%を目処。

- ◆ 上記配当政策に基づき、
2008年3月期の期末配当金は、
1株当たり30円の予定。



※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役専務執行役員 水戸 優

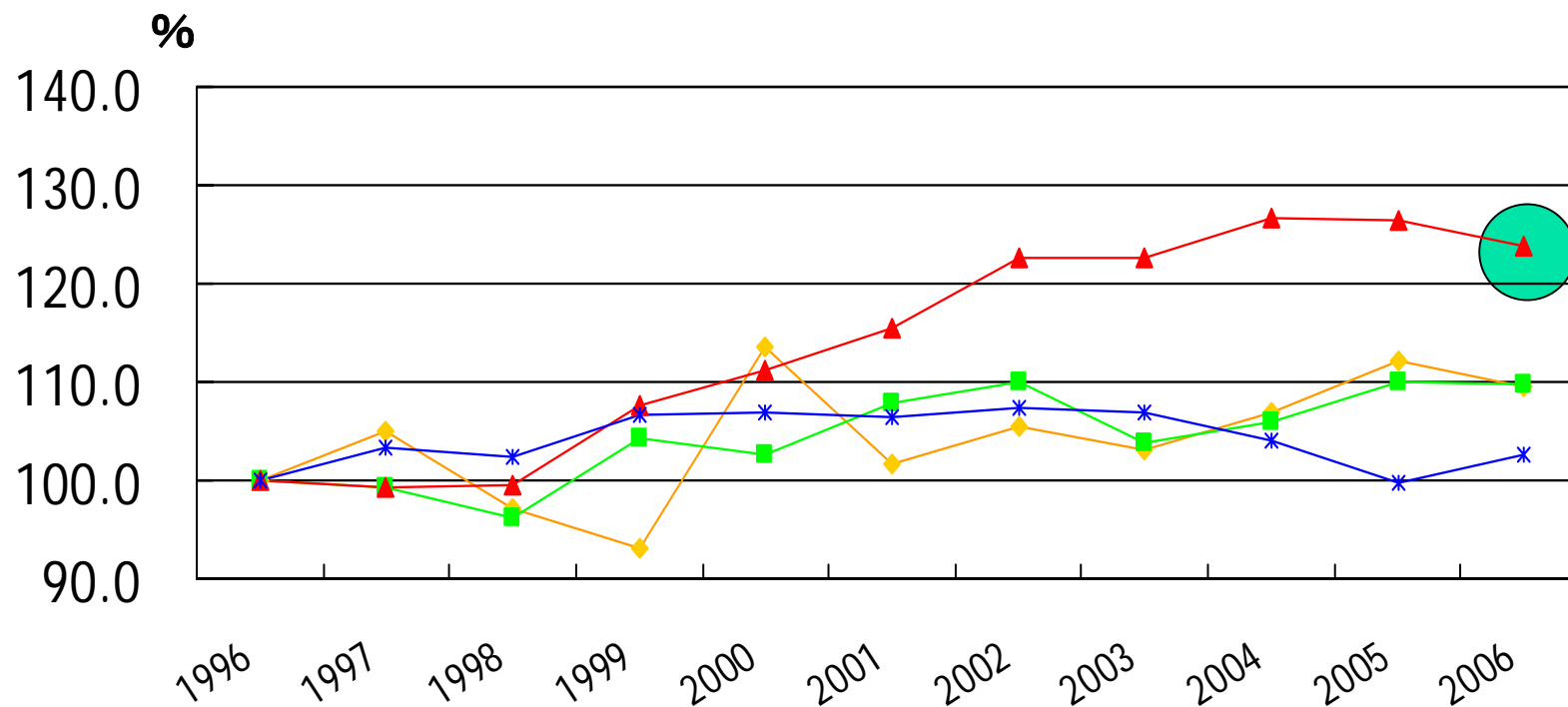
URL: <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料



わが国のごま種子輸入量と搾油状況



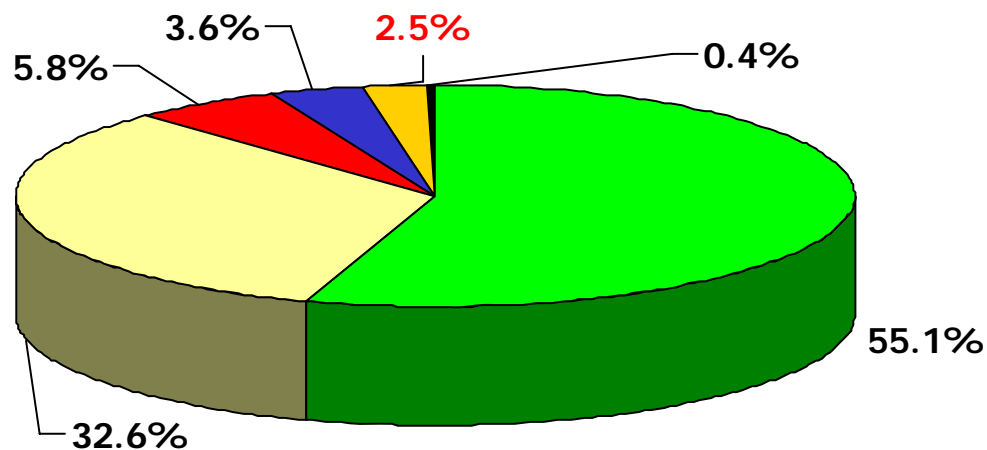
	(1996年)	(2006年)	(伸び率)
◆ 全国ごま種子輸入量	145,108	159,110	109.6%
■ 全国ごま油生産量	39,586	43,426	109.7%
▲ 当社ごま油生産量	19,887	24,606	123.7%
✱ 全国可食油生産量	1,718,779	1,762,925	102.6%

(単位:トン)

資料:財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」



わが国の油糧(可食油)生産量実績



2006年生産量

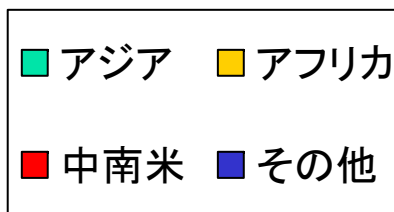
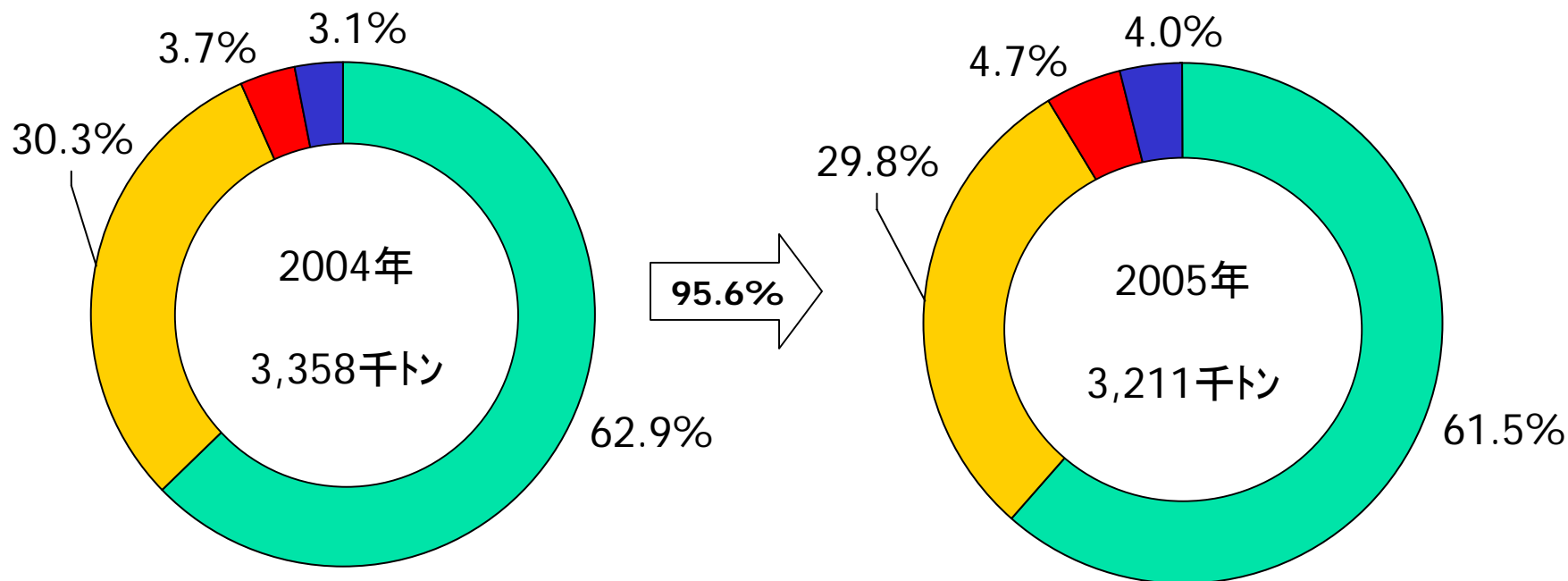
1,762,925トン

	1996年 (数量:トン)	2006年 (数量:トン)	増 減	
			(数量:トン)	(比 率)
■ 菜種	816,001	971,901	155,900	19.1 %
■ 大豆	673,432	575,739	△97,693	△14.5 %
■ とうもろこし	99,481	101,734	2,253	2.3 %
■ 米ぬか	61,757	63,319	1,562	2.5 %
■ ごま	39,586	43,426	3,840	9.7 %
■ 紅花	21,100	-	△21,100	- %
■ その他	7,422	6,806	△616	△8.3 %
	1,718,779	1,762,925	44,146	2.6 %

資料：農林水産省作成
「油糧生産実績表」



世界のごま種子生産量



資料: FAO Inter-net data base

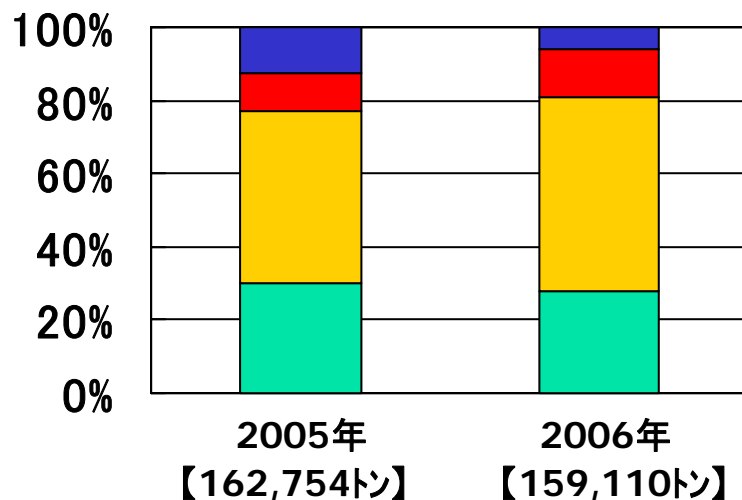
(主な生産国)

単位: 千トン	2004年	2005年	増 減
インド	680	680	0
中国	704	625	△79
ミャンマー	555	510	△45
スーダン	399	277	△122

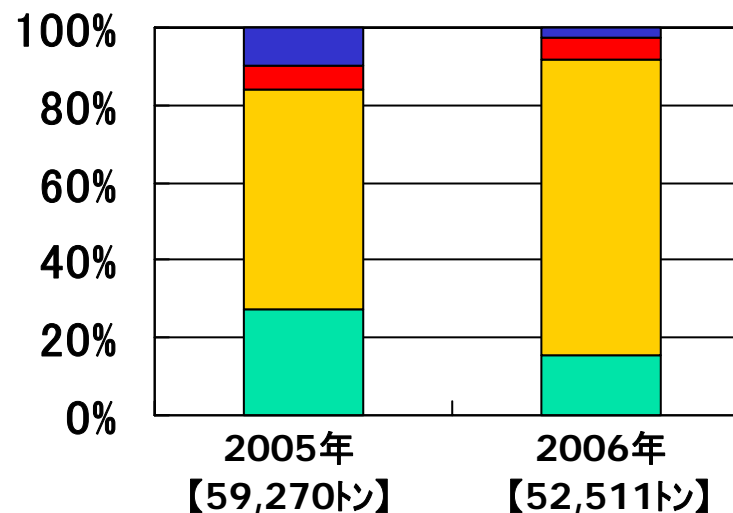


わが国のごま種子輸入実績

全国



当社



■ 中国	12.5%	6.0%
■ 東南アジア (ミャンマー・パキスタン他)	10.4%	12.9%
■ アフリカ (ナイジェリア・タンザニア他)	46.8%	53.3%
■ 中南米 (パラグアイ・ボリビア他)	30.3%	27.8%

資料：財務省通関統計